安全・安心で持続可能な狭山のために
令和6年度予算が成立

第1回定例会では、令和6年度予算など、49議案が市長から提出されました。議長を除く21人の議員で採決した結果、原案のとおり可決・承認・同意しました。

（採決の結果は6ページ）

3月定例会
2月20日～3月14日

主な議案審議

◆一般会計補正予算(第9号)（専決処分）

Q 物価高騰重点支援事業のスケジュールは。

A 3月中旬を目途に該当世帯に支給通知書を発送し、振込口座届出書の提出を受けて、3月下旬から支給を開始する予定である。

Q 支給通知書が届かず申請が必要となる世帯は。

A 令和5年1月2日以降に転入し課税状況が把握できない世帯などである。

◆事務手数料条例の一部改正

Q 広域交付による戸籍などを取得する場合とは、具体的にどのようなケースを想定しているのか。

A 相続などで出生から死亡までの全ての戸籍・除籍などが必要な場合は、それぞれの本籍地の市区町村に請求する必要があったが、改正により1つの自治体で取得可能となる。

◆介護保険条例の一部改正

Q 介護保険料率を上げざるを得ないその背景は。

A 国の社会保障審議会から、介護保険制度の持続可能性を確保するため、介護報酬の改定率を全体でプラス1・59％にする答申を受け、国として決定された。

市では、これを受け、法令に基づき、今後の介護サービスの見込み量を踏まえ、社会福祉審議会において審議、承認を経て決定したものである。

◆水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正

Q 航空自衛隊入間基地への給水により、水道料金の収益をどれぐらい見込んでいるか。

A 令和7年度から、年間約1億円の水道料金収入を見込んでいる。

◆一般会計補正予算(第10号)

Q 生活保護事業費が増額となっているが、今回増加となった世帯数とその主な要因は。

A 当初見込んでいた世帯数よりも、医療扶助が72世帯、介護扶助が3世帯増加している。

これら受給世帯の増加は、高齢者世帯と障害者世帯が増加していることが要因であると考えている。

令和6年度予算

◆一般会計

歳入歳出
535億4700万円

歳入

Q 個人市民税は昨年度より増収を見込んでいるが、市民の平均所得はどのぐらいと捉えているのか。

A 個人市民税の令和6年度課税における納税義務者1人当たりの平均所得金額は、約302万円と見込んでいる。

Q 財政調整基金からの繰入金が約28億8000万円と、昨年度より約6億円多いがその理由は。

A 都市基盤整備や公共施設の改修など、前年度より一般財源が多く必要となる事業を予定していることや、人件費、原材料費の高騰に伴い、総じて事業費が上昇しているためである。

Q 乳幼児医療費支給事業補助金の対象年齢は何歳まで引き上げられるのか。

また、これに伴う県補助金の増額分の見込みは。

A 令和5年度の補助対象年齢は小学校就学前までであったが、6年4月診療分より、通院については小学校3年生まで、入院については中学校3年生までに拡大され、これによる県補助金の増額は3000万円程度と見込んでいる。

Q 昨年を上回る防犯費が計上されているが、どのような事業に取り組むのか。

A 狭山警察署や小中学校の意見をもとに設置場所を選定し、犯罪の発生が懸念される駅周辺や主要道路のほか、小中学校の通学路などに100台程度の防犯カメラの設置を予定している。

歳出

Q 地区センターなどにおける申請書自動作成機とキャッシュレス決済導入について、具体的なサービスの内容と開始予定時期は。

A 申請書自動作成機は、マイナンバーカードなどを利用して住所や氏名、性別、生年月日の情報を自動で申請書に記載できるもの。

また、キャッシュレス決済は、クレジットカードや電子マネー、二次元コードなどの各種決済を利用した手数料の支払いに対応するもの。

なお、開始時期は、令和6年10月以降を予定している。

Q 市制施行70周年として実施する事業は。

A 市内の駅や公共スペースを中心に装飾を施し、祝祭感を演出するPR事業をはじめ、姉妹友好都市の関係者を招いた記念式典の開催、市内の小中学校における記念給食や絵画コンクールの実施、博物館における写真展の開催、公共下水道のデザインマンホール蓋の設置、そして、令和7年3月に入曽駅周辺整備事業のまち開きに合わせてプレオープンイベントを開催するなど12の事業を展開していくこととしている。

狭山市制施行70周年ロゴマーク

SAYAMA CITY
70th anniversary

Q 飯能斎場の更新事業の具体的な内容は。

A 開設後40年以上が経過しており、施設全体の老朽化が著しく、火葬件数の増加に伴う火葬能力不足や葬送習慣の変容などさまざまな課題があることから、既存施設を稼働しながら現地建て替えの手法により、令和11年度の供用開始に向けて将来の火葬需要に対応する施設全体の更新を計画している。

Q 狭山市駅加佐志線整備事業の現在の進捗状況は。

また、令和6年度事業内容と今後のスケジュールは。

A 6年1月末現在、用地の取得率は、加佐志線本線で約88％、排水経路で約48％である。

6年度の事業内容については、5年度に引き続き用地取得を進め、道路雨水の処理を行うために、雨水管築造工事を実施するとともに久保川へ放流するための調整池を8年度までの3か年で整備を予定している。

また、今後のスケジュールについては、道路整備をはじめ、周辺地域の溢水（いっすい）に配慮した調節池などの整備を進め、8年度の供用を目途に事業を進めていく。

Q 入曽駅東西自由通路と橋上駅舎の工事費の総額は。また、当該事業に対する市と鉄道事業者の負担は。

A 工事費の総額は、東西自由通路が21億3840万円、橋上駅舎が24億5００万円で、合わせて45億4340万円となる。

また、当工事に対する鉄道事業者の負担はない。

Q 中学校の部活動指導員の配置と今後の計画は。

A 現在、部活動の単独指導が可能な部活動指導員を各中学校に1名ずつ配置している。

今後については、まずは令和6年度に各中学校2名ずつ配置する予定であり、学校からの要望に応じてさらなる増員ができるよう考えている。

◆国民健康保険特別会計

Q マイナンバーカードと健康保険証の一本化が予定されているが、健康保険証に代わる証明書の発行はどのように行われるのか。

A 令和6年12月の被保険者証の廃止に伴い、被保険者の記号番号などが記載された資格確認書を交付することとしている。

資格確認書は原則本人の申請に基づき交付するものだが、マイナ保険証を保有していない方などについては、当分の間、本人の申請によらずに交付する運用を予定している。